

社団法人日本ペストコントロール協会の取組について

1. 協会の概要

社団法人日本ペストコントロール協会は、昭和 43 年に日本害虫防除連合会として発足。現在は、有害生物に関する調査研究、防除技術に関する研修と技術の指導、防除事業の推進に必要な情報の収集と、これらに関する知識の普及など、会員 878 社、賛助会員 37 社により、人間生活における有害・不快な生物（害虫獣のみならず鳥インフルエンザ、口蹄疫等のウィルスも含む）の活動を、人の生活を害さないレベルまで制御する「ペストコントロール」という環境衛生業務を通じて、社会に貢献することを目的としている。

2. 東日本大震災おける取組

現在、漁港や水産加工施設がある被災地域において、瓦礫と共に放置されている魚介類からのハエの大量発生問題が深刻化しており、当該市町村等からの要請を受け、消毒および害虫防除（以下、“防除”という）を行っている。

なお、防除に関しては、行政機関との調整や必要経費面について「公益社団法人 日本国際民間協力会（NICCO）」との協力体制を取りながら行っている。

（1）現在までの対応状況

宮城県

- ・石巻市：市の依頼により、4/20 より被災小中学校 14 校につき開校前の全面消毒、その後 50 日間（6 月末程度）の予定で市内を現在消毒作業中。
- ・女川町：魚市場のハエ対策 6 月 16 日実施
- ・名取市：瓦礫集積場のハエ対策 現在調査等
- ・石巻市内：瓦礫集積場含む殺虫と消毒（7 月以降継続実施）
- ・気仙沼市：ハエ発生が酷く早急に対応すべく準備中。

岩手県

- ・大船渡市：水産加工地域一帯の殺虫を 5 月 17～20 日及び 6 月 8 日から実施。市内全域の防除依頼があり、6 月 7～10 で当協会専門員による実態調査を実施。結果を踏まえ、6 月 16～20 日で広域防除を行う予定。その際には、失業対策としての現地作業員雇用も地元行政では検討中。
- ・陸前高田市：上長部地区、長部漁港
- ・大槌町：冷凍倉庫、水産加工場
- ・山田町：水産加工場、体育館（遺体安置所）消毒

- ・各地の行政より相談は多数あり。
- ・その他現地ペストコントロール協会及び NICCO を窓口として、各地で単発的な駆除対応を随時行っている。

（2）害虫発生調査

ペストコントロール協会では防疫のための調査を行っている。また、NICCO との協力により各地で害虫発生調査を実施し、これらの調査結果を踏まえて、防疫計画を組み立てている。

◆第1次調査 5月6～8日（宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市）

参加：ペストコントロール協会、国立感染症研究所、JICA、NICCO

<概要>

気温が低くまだ成虫の大発生には至らないが、流出した腐敗魚類に大量のオオクロバエ幼虫が発生していた。山際ではオオクロバエ、ケブカクロバエ、トゲハネバエ類、ハマベバエ類、フンコバエ類成虫の飛翔を確認。回復期の住環境周辺では、特に早急な発生源対策と殺虫が必要。今後夏に向うに従って、ゴミ等から発生するイエバエ類の増加が考えられる。

蚊について、気仙沼市、陸前高田市の調査を行った地域では、随所に停滞した水域が見られた。蚊幼虫（ボウフラ）の調査の結果、発生は見られなかった。しかし、停滞水があれば、蚊の発生が起こることはよく知られている。海岸地区では、これらの水に塩分や油分が含まれていると思われる、蚊の発生は当面抑制されることになるが、梅雨時期以降、停滞水は徐々に雨水を主とする真水に置き換わり、蚊の発生源となることが想定される。特に海岸地域では地盤沈下の影響で、水が停滞しやすい環境にあり、今後秋頃までは、蚊の発生監視調査が必要である

◆第2次調査 6月8～10日（岩手県大船渡市、宮城県石巻市）

参加：ペストコントロール協会

<概要>

6月に入り予想通りオオクロバエが腐敗魚に発生。腐敗魚の処理の遅れたところでは大発生していた。水産工場地区は特に酷い。瓦礫の中に魚も混じっていることにより集積場の殺虫が必要で、行政もそれを強く望んでいる。海から岸壁に積み上げられた海洋性廃棄物には、主にハマメバエ、ツマグロイソハナバエ、クロコバエが群がっていたが、乾燥したものでは発生は少ない。

行政担当者と幼稚園、保育所、小学校、避難所を訪問し、住民の質問に回答した。大きなクロバエが気持ち悪いという苦情が多い。避難所ではオオクロバエとともにイエバエが確認された。入口ではオオクロバエが捕獲されていたが、厨房ではイエバエのみ。イエバエは室内への侵入が多い種であり避難所厨房も苦慮している。感染症への懸念も含め、今後苦情等が多くなると予想される。

◆第3次調査 6月26～28日（予定）主に蚊の発生状況調査

参加：NICCO、ペストコントロール協会、国立感染症研究所、JICA

（3）今後の予定

岩手～福島の13市町村（下記）で、各都市毎月1回5日間で6カ月間の定期防除および定期調査を行う計画であり、延べ人員は約3,000人。現地ペストコントロール事業者だけでは人員が足りないため、全国の協会から動員しつつ支援する体制を構築中。

また、NICCOでは気仙沼に拠点を設けて近隣地区（気仙沼市、陸前高田市、大船渡市）におけるモニタリング、殺虫業務を行っており、今後も継続する。

【定期防除計画中の市町村（北部より）】

岩手県：田野畑村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市

宮城県：気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市

福島県：相馬町